

しんがき  
はるる

# 連 召 兵 團 苦 力、土 民 使 用 上 ノ 注 意

〇 〇 工 兵 隊

## 一、苦力、土民ノ態度ト匪情判斷ニ就テ

土民、苦力カ微備ニ應スルコトヲ濫リ或ハ微備スルモ忠實、熱心ニ作業ニ從事セザルハ必ス近効ニ匪賊アリ  
作業及宿營等ニ於テ特ニ警戒ヲ嚴ニスルヲ必要トス、之ニ反シ住民ノ欣然微備ニ應シ忠實ニ作業スルハ皇軍ヲ信賴スル事  
深キ表徴ナリ

## 實 例

前者 昨年五月癸乾河偵察昨秋北部山西作戰ニ於ケル廣靈、靈邱道蔚源道構築作業靈邱孤樹村道構築作業等ニ於ケ  
ル體験

後 者 張北南方外長城線築城

八達嶺防護施設

ノ體験

## 二、風聲鶴唳ト苦力ノ掌握ニ就イテ

苦力、土民ヲ使用スル場合、風聲鶴唳ニ驚キ思ヒ掛ケナキ懸懼ヲ惹起スルコトアリ此ノ際初期ニ於テ斷然タル處置ヲ取ル  
ヲ必要トス然ラサレハ收拾スヘカツサルニ至ルヘシ

實 例

北部山西作戦ニ參加廣嶺嶺邱道改築中十月三日孫家庄一臭庄間ノ道路構築中歩兵部隊及砲兵隊ハ賈庄南方廟附近ニ據ル敵ヲ攻撃中工兵ハ七百名ノ苦力ヲ使役シ賈庄一白背子ノ馬頭關ノ間ノ道路改築中ナリシガ「右後方山頂ニ匪賊現ハル」ト言フ言葉ト野砲カ今迄ト反對方向ニ向ケ威嚇射撃ヲ實施シタルニ驚キ野砲ノ側ノ苦力ニ、三名後退スルヤ是ニ驚キ一時數百名ノ苦力及歩砲兵部隊ノ行季ノ駄馬、百數十頭津波ノ如ク狼狽後退セリ

茲ニ於テ白背子附近ニ於テ作業ニ任シアリシ工兵一分隊著剣散開シテ之ヲ拒止シ漸ク此ノ雪崩レヲ喰止ムルヲ得タリ此ノ場合ノ處置ヲ誤マリナハ由々シキ事態出來ルナラン

三、宣傳効果ノ永續性ニ就イテ

宣傳効果ノ永續性ハ直接民衆ト接觸シ身ヲ以ツテ之ヲ卒キルニ在リ

昨年一ケ年間各所ノ作業ニ於テ工兵ハ必ス土民ヲ使用セリ而シテ直接兵員ノ中ニ入レテ作業ヲシ可愛カリテ使用シ至當ノ報酬ヲ與ヘタル土民ハ其後日ヲ經テモ好感ヲ以テ迎フ

實 例

五岔村附近ノ住民。晋家台附近ノ住民。八達嶺附近ノ住民。張北近郊ノ住民 皆然リ